

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	持続再生景観小委員会	主 査 名：浅野 聡 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名：出口 敦 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「景観法 10 年の検証」をテーマにして、景観法を中心とした景観まちづくりのあり方を検証し、直面する課題と課題解決のための提案を行う。</li> <li>・問題提起と主要な課題の洗い出しを行うとともに、研究の枠組みを検討する。</li> <li>・学会大会における研究懇談会の開催、同資料集の作成</li> <li>・景観ルックインの実施（「夕張市 - 持続再生可能なコンパクトシティと景観」）</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (5 名の委員公募を実施) 浅野 聡 (三重大学)、志村秀明 (芝浦工業大学)、大影佳史 (名城大学)、宇於崎勝也 (日本大学)、阿部大輔 (龍谷大学)、大野 整 (都市環境研究所)、岡田雅代 (おかだプランニングラボ)、嘉名光市 (大阪市立大学)、川島和彦 (日本大学)、栗山尚子 (神戸大学)、佐藤宏亮 (早稲田大学)、鶴田佳子 (岐阜工業高等専門学校)、原田栄二 (東北大学)、三宅 諭 (岩手大学)、宮脇 勝 (千葉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://keikansyouiinkai.jimdo.com/">http://keikansyouiinkai.jimdo.com/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (幹事会を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 「景観再考」日本建築学会編、鹿島出版会
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 景観ルックイン（「夕張市 - 持続再生可能なコンパクトシティと景観」、見学会ならびにミニシンポジウム）8 月 29 日 参加者数 50 名 (見学用地図等の資料を作成し、ミニシンポジウムを開催)
大会研究集会	1. 研究協議会「景観法 10 年の検証」 - 市町村景観行政の課題と展望 同 資料
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 4 年間計画の初年度にあたり、研究テーマに対する問題提起と主要な課題の洗い出しを目的とした研究懇談会と景観ルックインの開催に向けて議論を重ね、その実施と研究懇談会資料集の作成を通じて当初計画を達成したものと考え。           2. 上記以外にも主要な課題の洗い出しと研究の枠組みに関する議論を重ね、内容の整理を行うとともに次年度の活動方針の見通しをたてたことで、当初計画を達成したものと考え。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会への委員の出席率は高く (80%以上)、熱心な議論が行われているが、小委員会の予算が削減されたため、交通費の支給が一人あたり 0～2 回程度しか出来ないため、特に遠方の委員の負担が大きくなっている。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。